

# I. 調査の概要

## 1. 調査対象期間

平成19年1月～3月の3ヶ月間

## 2. 調査施設数

従業者数10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所10,406施設

|     | 10～29人 | 30～99人 | 100人～ | 計      |
|-----|--------|--------|-------|--------|
| 施設数 | 6,000  | 3,346  | 1,060 | 10,406 |

## 3. 回収率

71.7%(7,463施設)

# II. 調査結果の概要

## (1) 延べ宿泊者数(表1)

**延べ宿泊者数は7,204万人泊**で、**うち外国人は485万人泊**(宿泊者全体に占める割合は6.7%)

## (2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(表2)

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は**第1位が韓国**、**第2位が台湾**、**第3位がアメリカ**で、上位3カ国(地域)で全体の5割超

## (3) 都道府県別延べ宿泊者数(表3)

都道府県別延べ宿泊者数は、**東京都**(全国比11.6%)**が最多**、**第2位が北海道**(同8.1%)、**第3位が千葉県**(同5.1%)

## (4) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(表4)

都道府県別外国人延べ宿泊者数は、**東京都**(全国比32.1%)**が最多**、**第2位が大阪府**(同10.2%)、**第3位が北海道**(同10.0%)

## (5) 都道府県別定員稼働率(表5)

都道府県別の施設の定員稼働率は、**東京都が最も高く**、**第2位が大阪府**、**第3位が沖縄県**

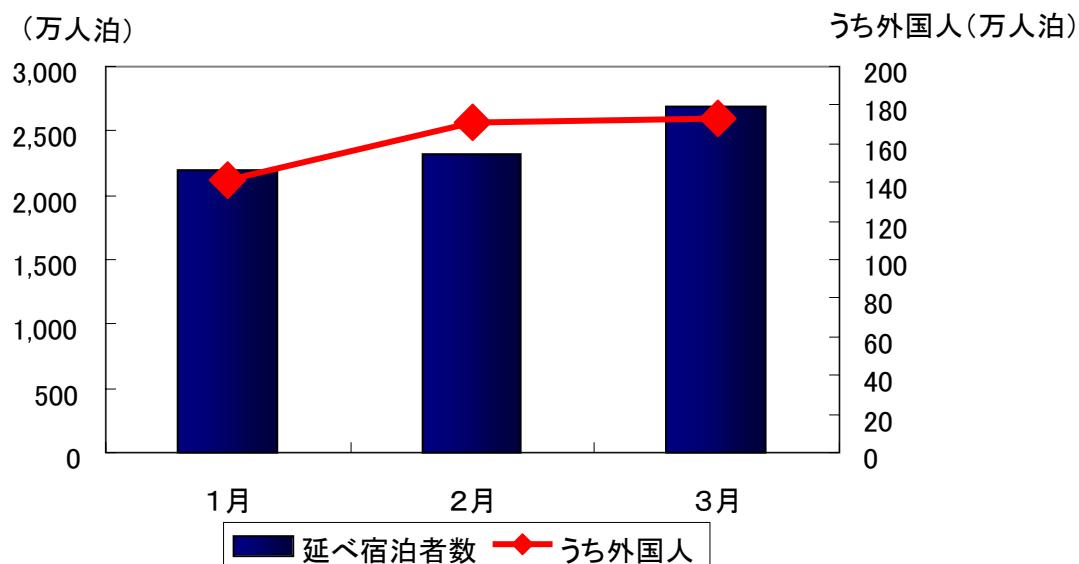
## (表1)延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は7,204万人泊で、うち外国人は485万人泊(宿泊者全体に占める割合は6.7%)

月別延べ宿泊者数

(万人泊)

|    | 延べ宿泊者数 | うち外国人 |      |
|----|--------|-------|------|
|    |        |       | シェア  |
| 1月 | 2,199  | 141   | 6.4% |
| 2月 | 2,322  | 171   | 7.4% |
| 3月 | 2,683  | 173   | 6.4% |
| 合計 | 7,204  | 485   | 6.7% |



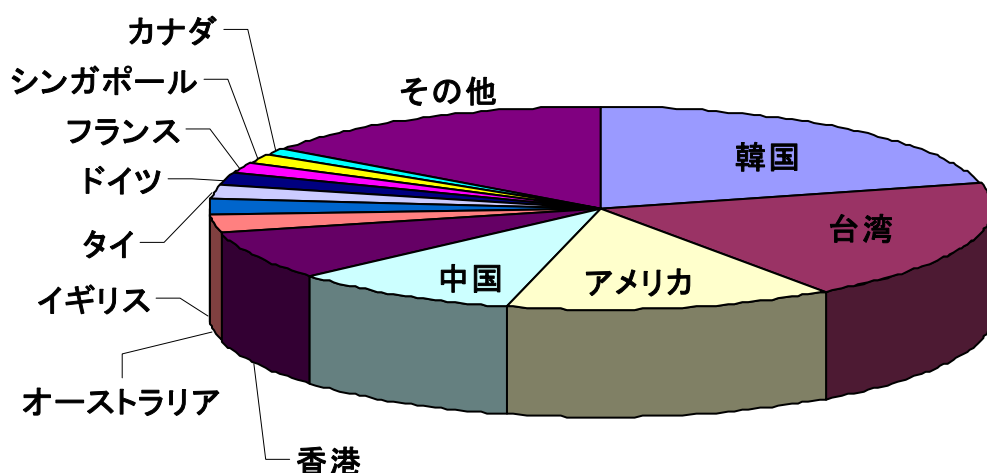
## (表2) 国籍別外国人宿泊者数

○国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は第1位が韓国、第2位が台湾、第3位がアメリカで、上位3カ国(地域)で全体の5割超  
○次いで、中国、香港の順で、これら5か国・地域の全体のシェアは約7割

国籍別外国人延べ宿泊者数

(万人泊)

| 順位   | 国籍(出身地) | 合計  |        | 1月  | 2月  | 3月  |
|------|---------|-----|--------|-----|-----|-----|
|      |         |     | シェア    |     |     |     |
| 第1位  | 韓国      | 99  | 20.5%  | 37  | 33  | 30  |
| 第2位  | 台湾      | 89  | 18.3%  | 23  | 37  | 29  |
| 第3位  | アメリカ    | 64  | 13.1%  | 18  | 18  | 27  |
| 第4位  | 中国      | 44  | 9.1%   | 11  | 18  | 15  |
| 第5位  | 香港      | 37  | 7.6%   | 10  | 17  | 11  |
| 第6位  | オーストラリア | 13  | 2.8%   | 6   | 4   | 4   |
| 第7位  | イギリス    | 11  | 2.3%   | 3   | 3   | 5   |
| 第8位  | タイ      | 10  | 2.1%   | 2   | 3   | 5   |
| 第9位  | ドイツ     | 9   | 1.8%   | 2   | 3   | 4   |
| 第10位 | フランス    | 8   | 1.7%   | 2   | 2   | 4   |
| 第11位 | シンガポール  | 8   | 1.6%   | 2   | 3   | 3   |
| 第12位 | カナダ     | 5   | 1.1%   | 1   | 2   | 2   |
|      | その他     | 70  | 14.4%  | 19  | 22  | 28  |
| 合計   |         | 485 | 100.0% | 141 | 171 | 173 |

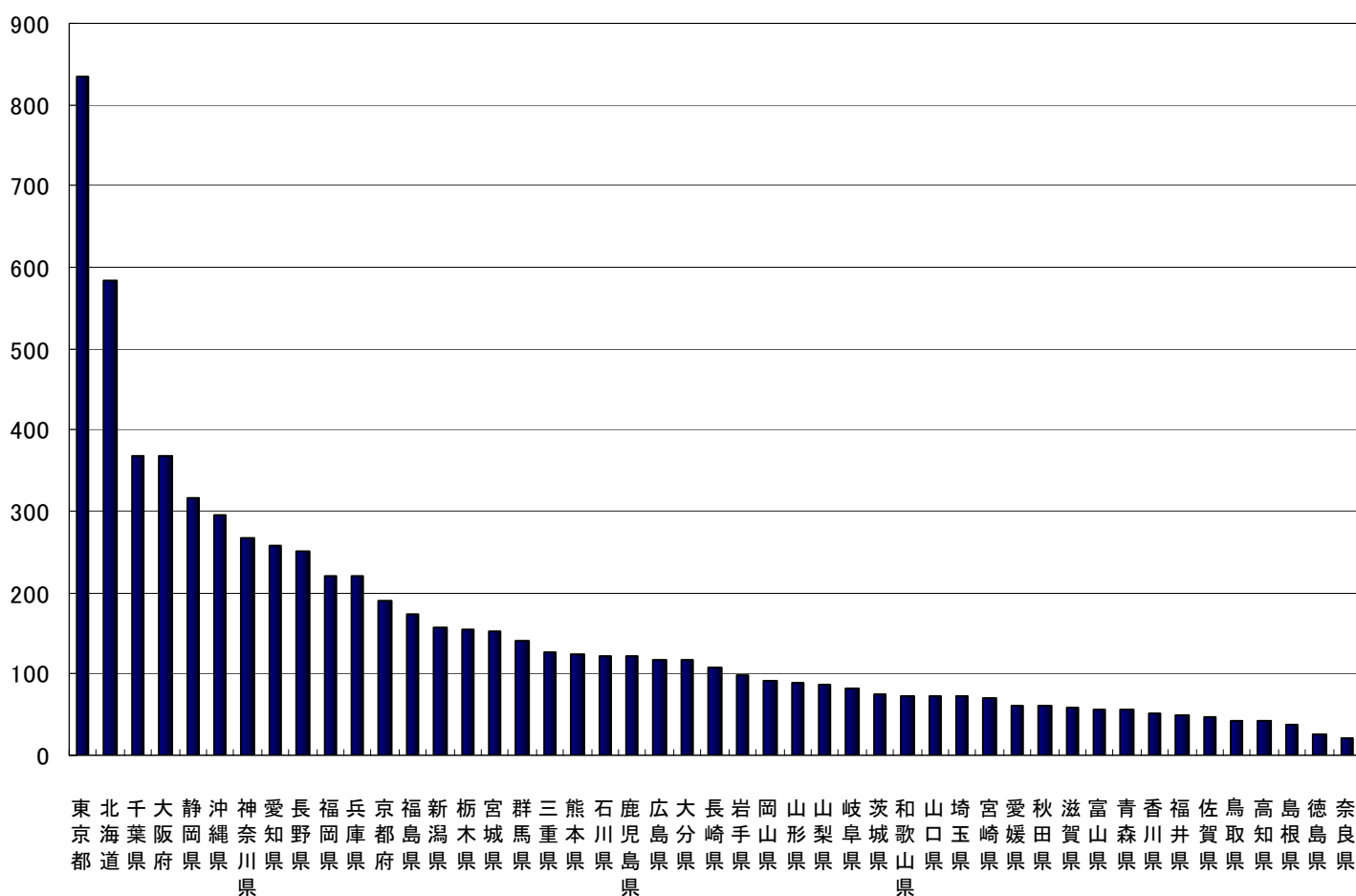


## (表3) 都道府県別延べ宿泊者数

都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が北海道、第3位が千葉県、第4位が大阪府、第5位が静岡県であり、上位5都道府県の全国でのシェアは約3割

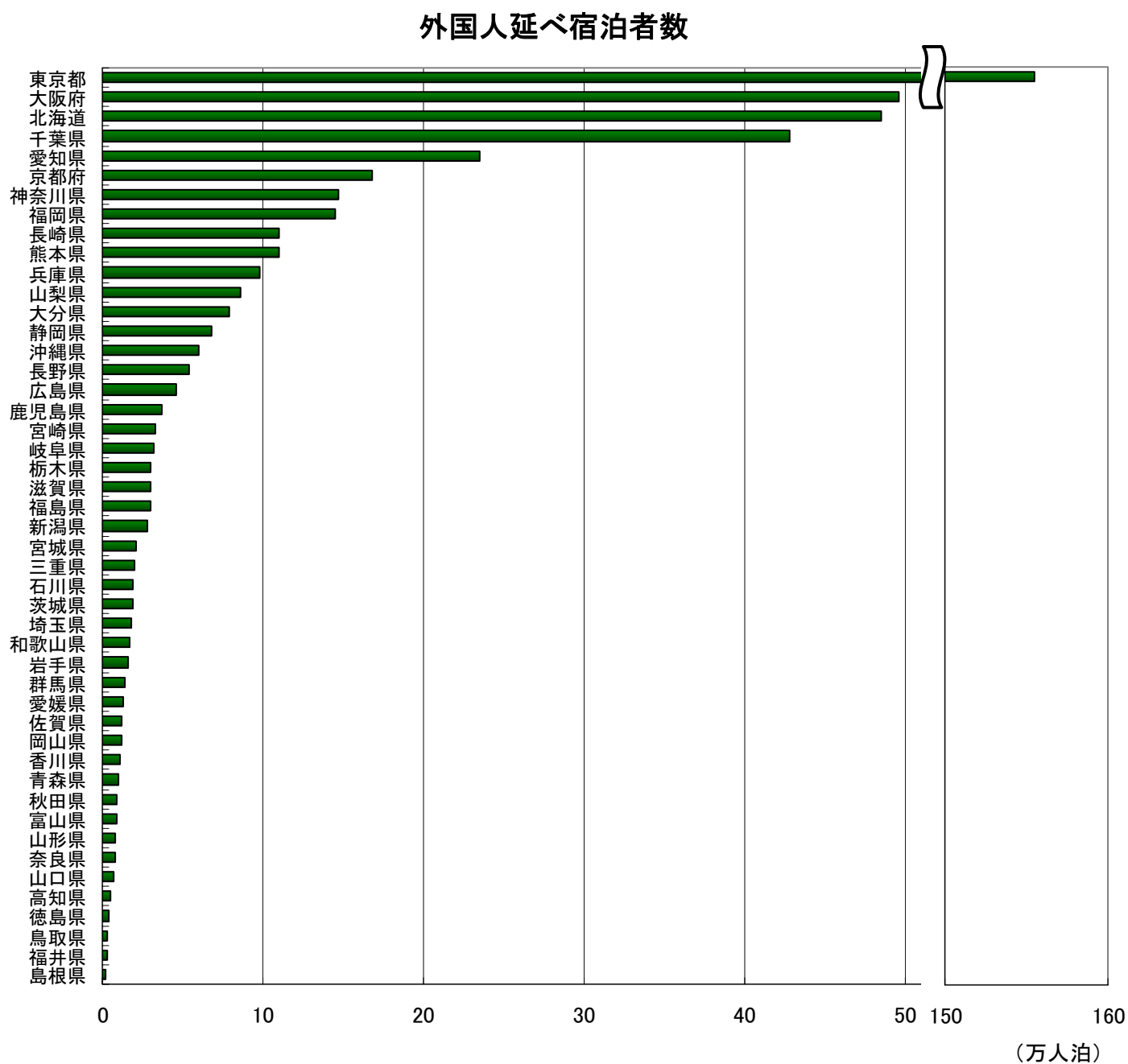
### 都道府県別延べ宿泊者数順位

(万人泊)



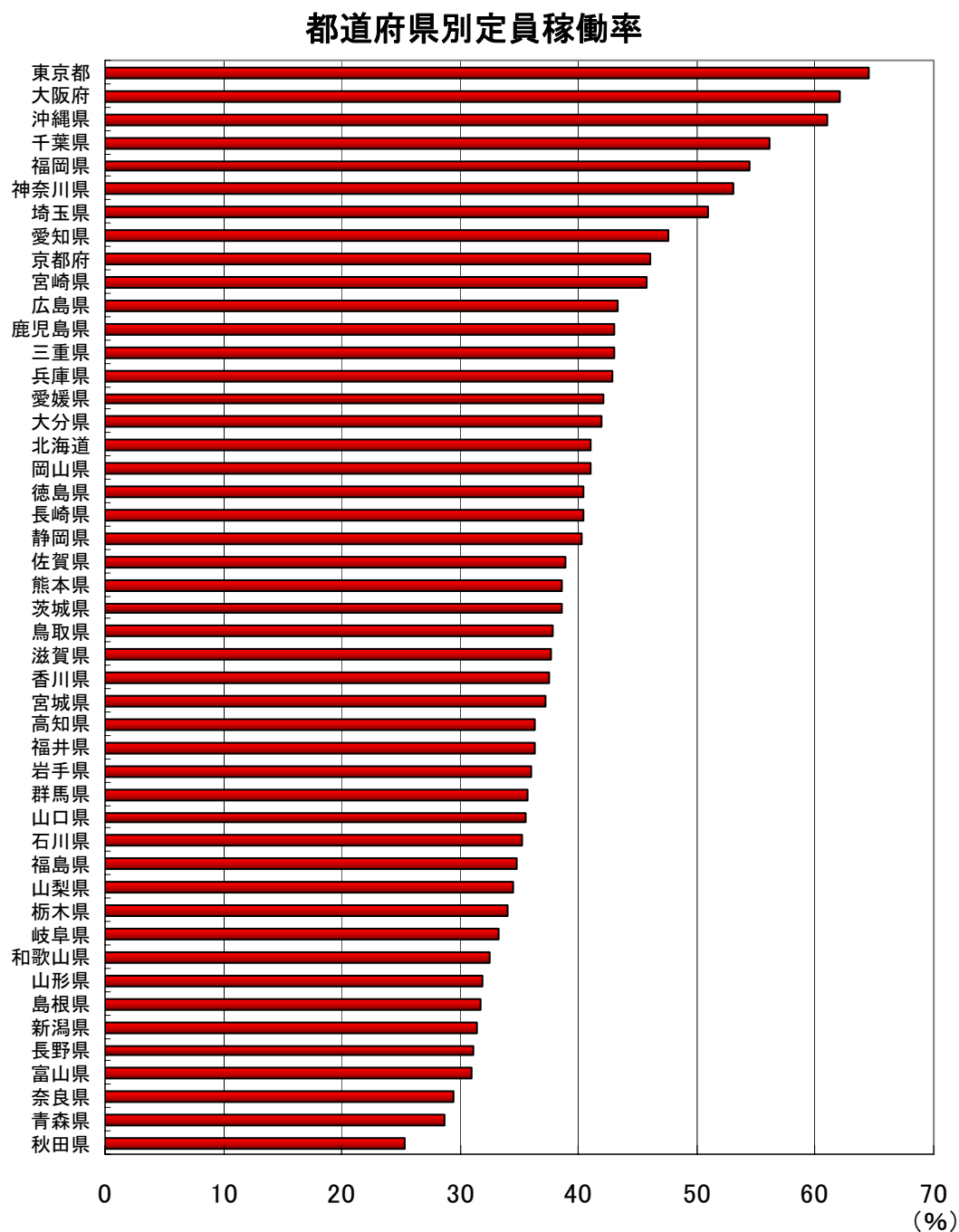
(表4)都道府県別外国人延べ宿泊者数

都道府県別外国人延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が大阪府、第3位が北海道、第4位が千葉県、第5位が愛知県であり、上位5都道府県の全国でのシェアは約7割



(表5) 都道府県別定員稼働率

都道府県別の施設の定員稼働率は、東京都が最も高く、第2位が大阪府、第3位が沖縄県



## Ⅲ. 前回調査との比較分析

### 1. 比較分析の概要

今回調査(1月～3月(冬期))と昨年実施した前回調査(第二次予備調査(6月～8月(夏期)))を比較分析した結果は以下のとおり。(※)

### 2. 分析結果の概要

#### (1) 延べ宿泊者数比較(表1)

延べ宿泊者数は10.6%の減少

#### (2) 外国人延べ宿泊者数比較(表2)

##### ① 都道府県別比較

外国人延べ宿泊者数は3.4%の減少

##### ② 国籍(出身地)別比較

国籍(出身地)別外国人宿泊者数の増加率上位は第1位がオーストラリア、第2位がタイ、第3位が韓国

#### (3) 定員稼働率比較(表3)

定員稼働率は4.0ポイントの減少

#### トピックス

外国人延べ宿泊者数の伸びが大きい九州については、**韓国人の増加**が顕著である。これは、**ゴルフ客等の増**に伴うチャーター便の増加によるものと考えられる。

東日本では都道府県別外国人延べ宿泊者数に大きな伸びはみられないが、北海道や長野県における**オーストラリア人の増加**、新潟県における**台湾人の増加**等が顕著であり、**スキー**等の効果が考えられる。

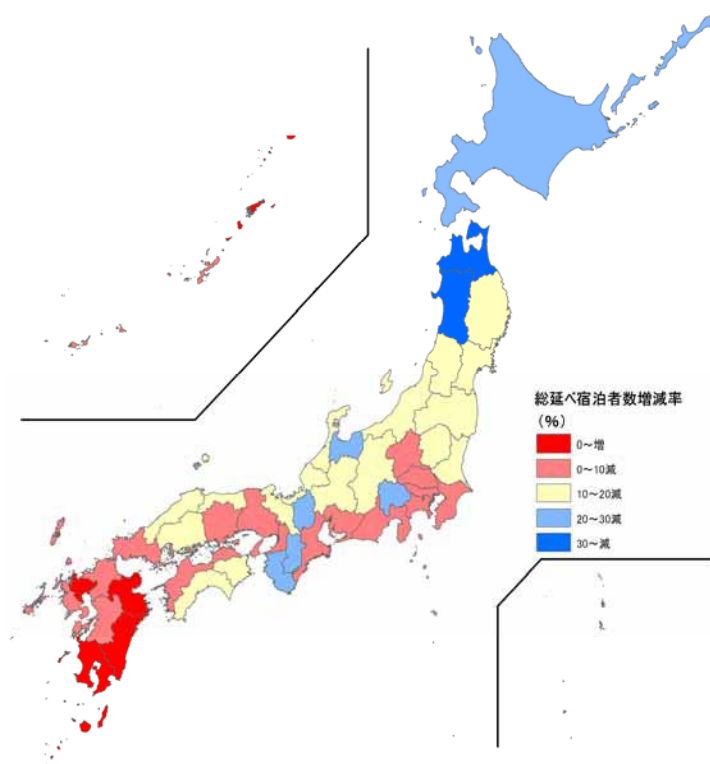
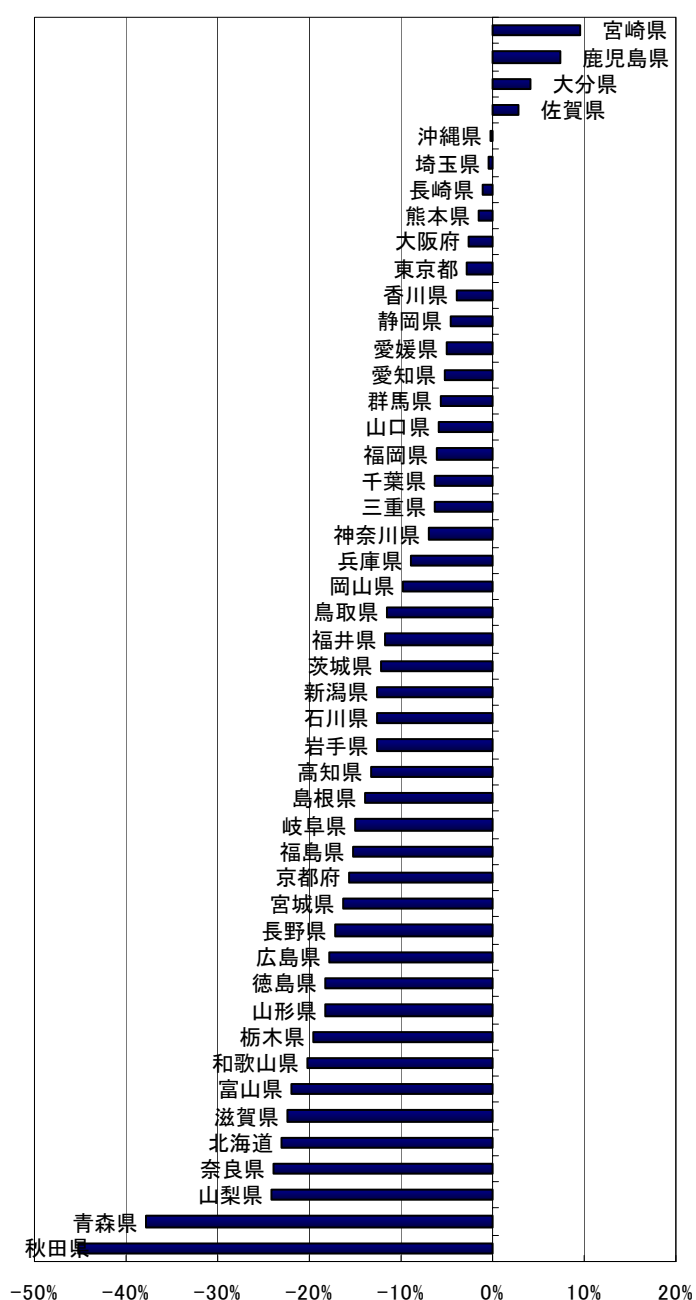
(※) 比較分析に当たっては、今回調査及び前回調査でともに回答が得られた宿泊施設のデータを比較することにより、延べ宿泊者数等の増減を求めた。

(表1) 延べ宿泊者数比較

○延べ宿泊者数は前回より10.6%の減少

○4県(宮崎県(前回比9.6%増)、鹿児島県(同7.3%増)、大分県(同4.0%増)、佐賀県(同2.9%増))のみが前回より増加

都道府県別延べ宿泊者増減率順位



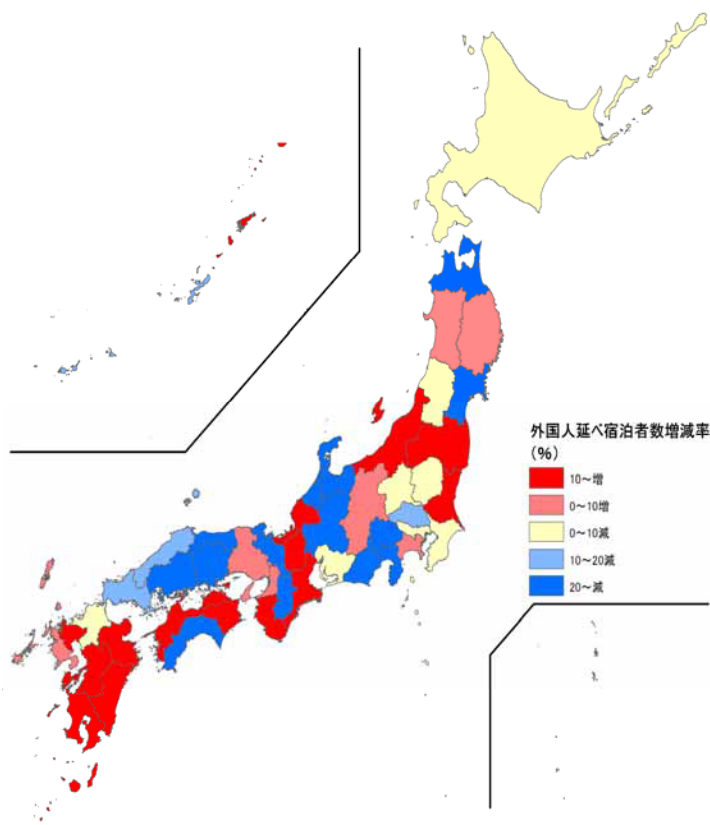
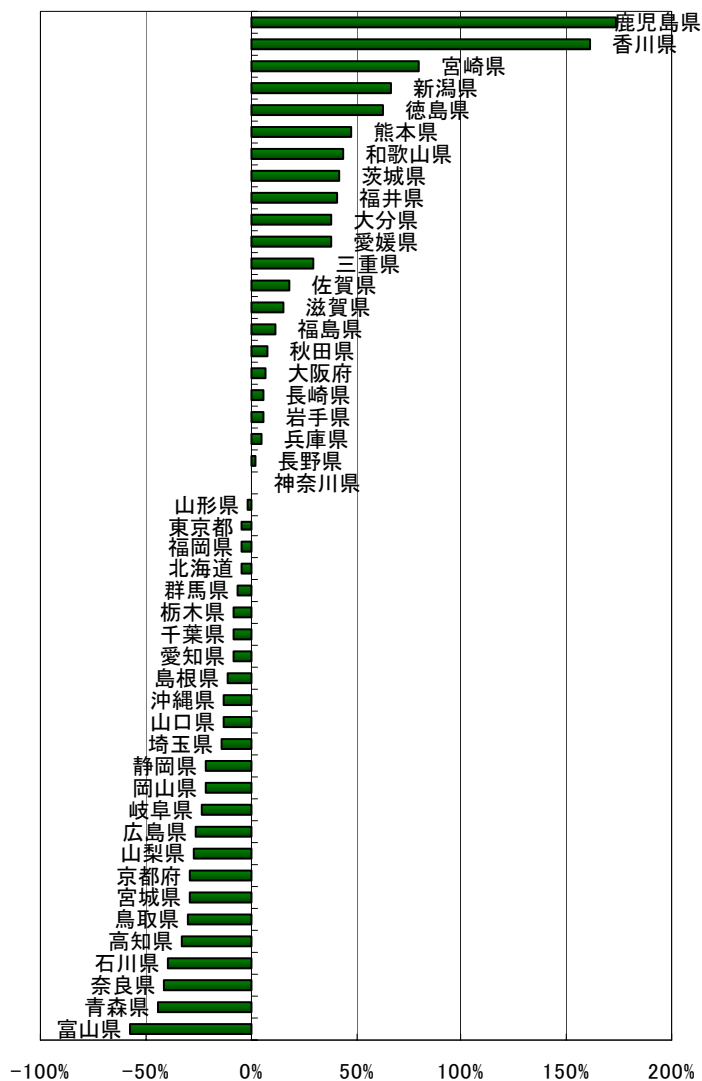
## (表2)外国人延べ宿泊者数比較

### ①都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は前回より3.4%の減少

○都道府県別に比較すると、増加率上位5県は、鹿児島県(前回比173.6%増)、香川県(同160.9%増)、宮崎県(同79.8%増)、新潟県(同66.8%増)、徳島県(同62.4%増)であり、上位5県が5割以上の増加

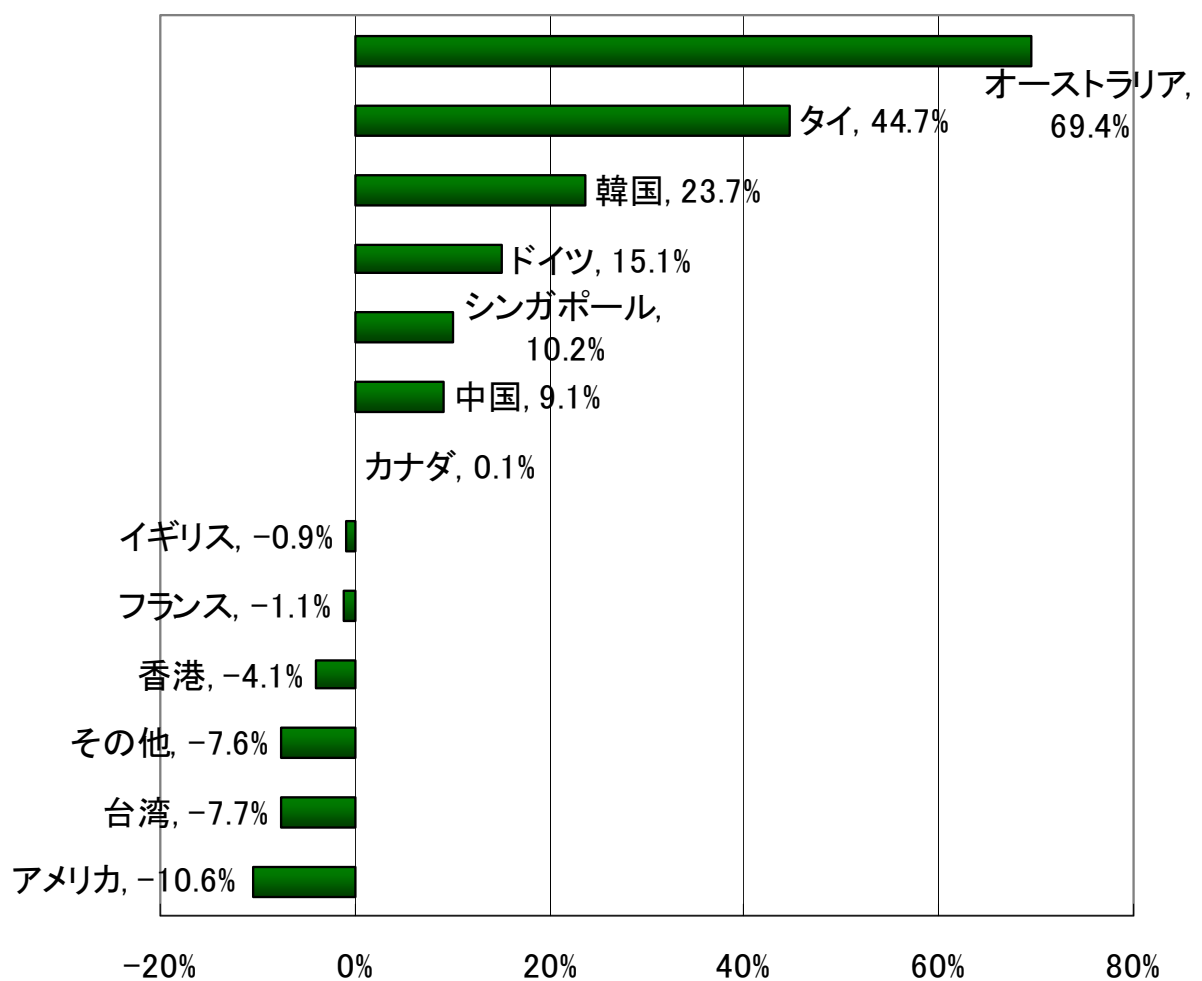
### 都道府県別外国人延べ宿泊者増減率順位



## ②国籍(出身地)別比較

国籍(出身地)別外国人宿泊者数の前回からの増加率上位は、  
第1位がオーストラリア、第2位がタイ、第3位が韓国

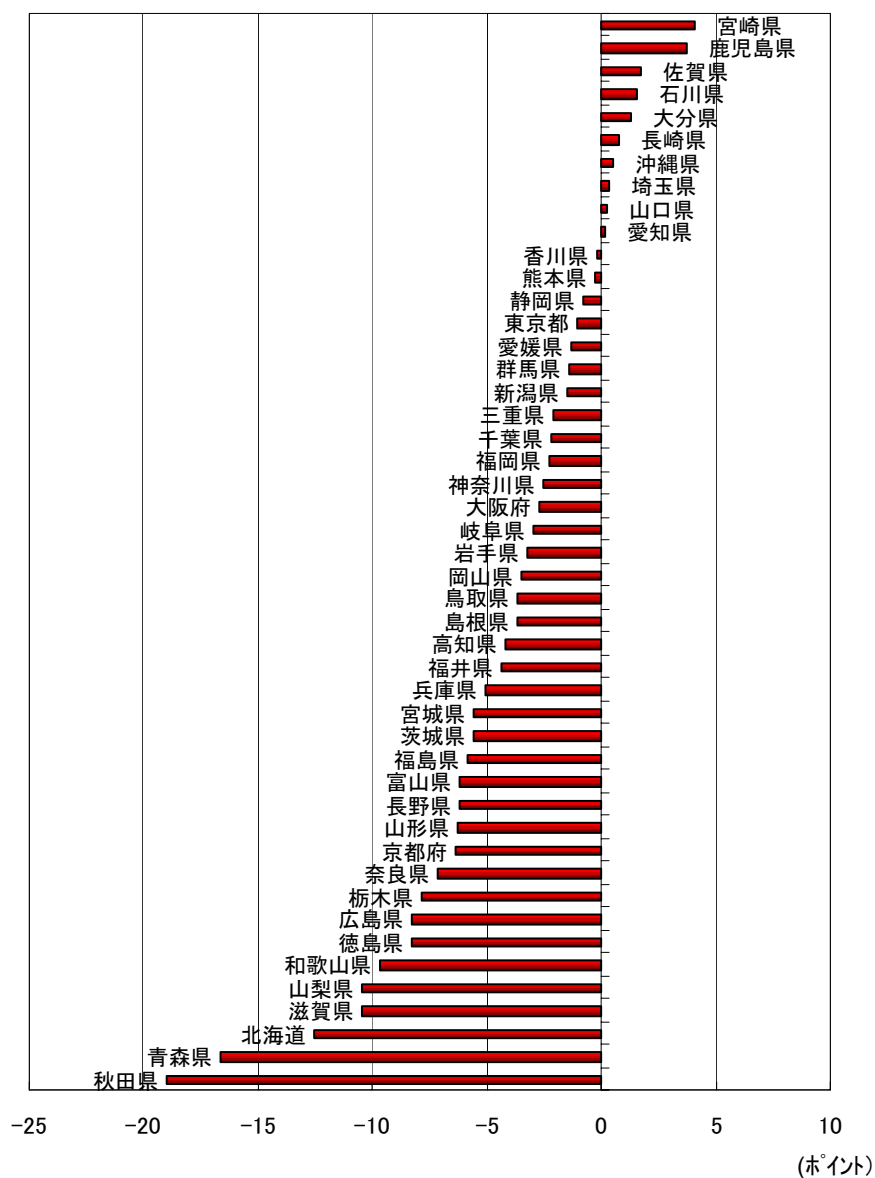
国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者増減率順位



## (表3) 定員稼働率比較

- 定員稼働率は前回より4.0ポイントの減少
- 都道府県別に比較すると、増加率上位5県は、宮崎県(前回比4.1ポイント増)、鹿児島県(同3.7ポイント増)、佐賀県(同1.7ポイント増)、石川県(同1.6ポイント増)、大分県(同1.3ポイント増)であり、増加した県は上位10県のみ

都道府県別定員稼働率順位

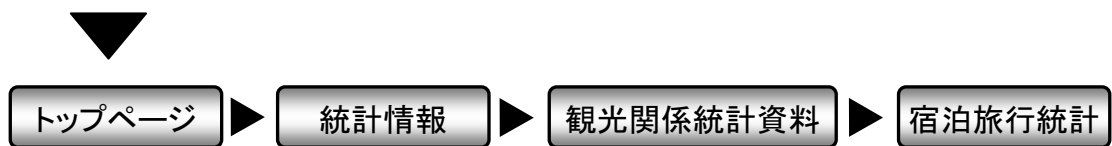


## IV. 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

＜宿泊旅行統計調査＞の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/>



(宿泊旅行統計ホームページ)